

「今後も技術磨く」

若 年 者 ものづくり大会 受賞の高杉さん、岩山さん

7月に広島県などで開催された第17回若年者ものづくり競技大会に、本県代表として出場した秋田職業能力開発短期大学の高杉康太さん(19)が電子回路組立ての部で銅賞、鷹巣技術専門校の岩山創羽さん(20)が建築大工の部で敢闘賞をそれぞれ受賞した。高杉さんは組立て基板製作

の序盤、緊張で手が震えたという。はんだが飛び散るミスをした以外は目立つ失敗もなく「うまく気持ちを立て直すことができた。緊張していたが落ちていく判断できた」と振り返る。

1年生の頃は覚えることの多さに苦戦し、うまくいかずに落ち込むことも多かった。銅賞を取れた時「自分の進んできた道は間違いではなかった」と感じた。「結果を残すことで自信がかった。自分の手で作り上げたものや努力が形になることが楽しい」と受賞の喜びを語った。

「建築大工で敢闘賞を受賞した岩山さん(鷹巣技術専門校)学校として大会初出場です加工する『手刻み』の技術を磨いていく」と誓う。

